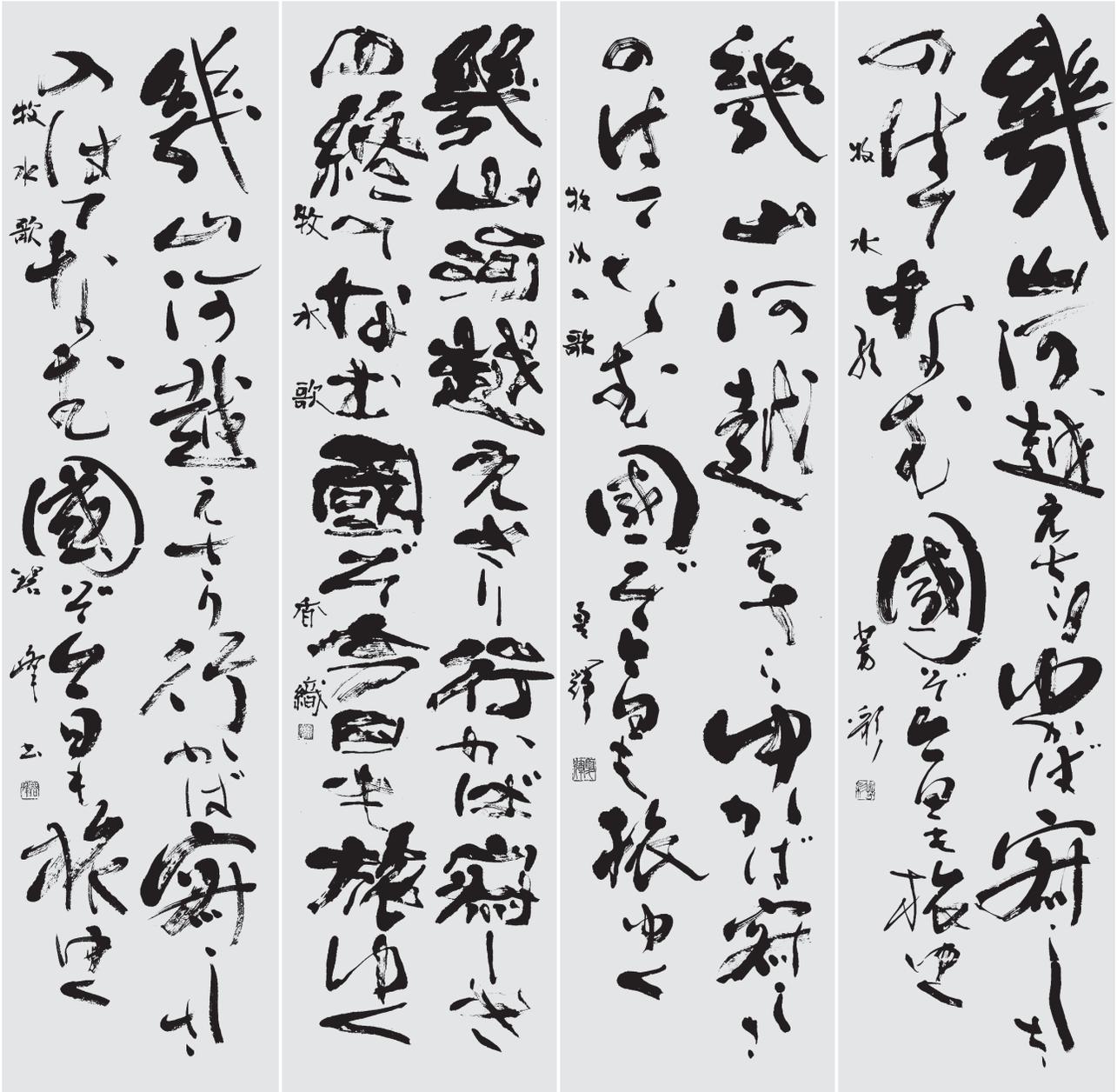


藤田壽樹先生選評

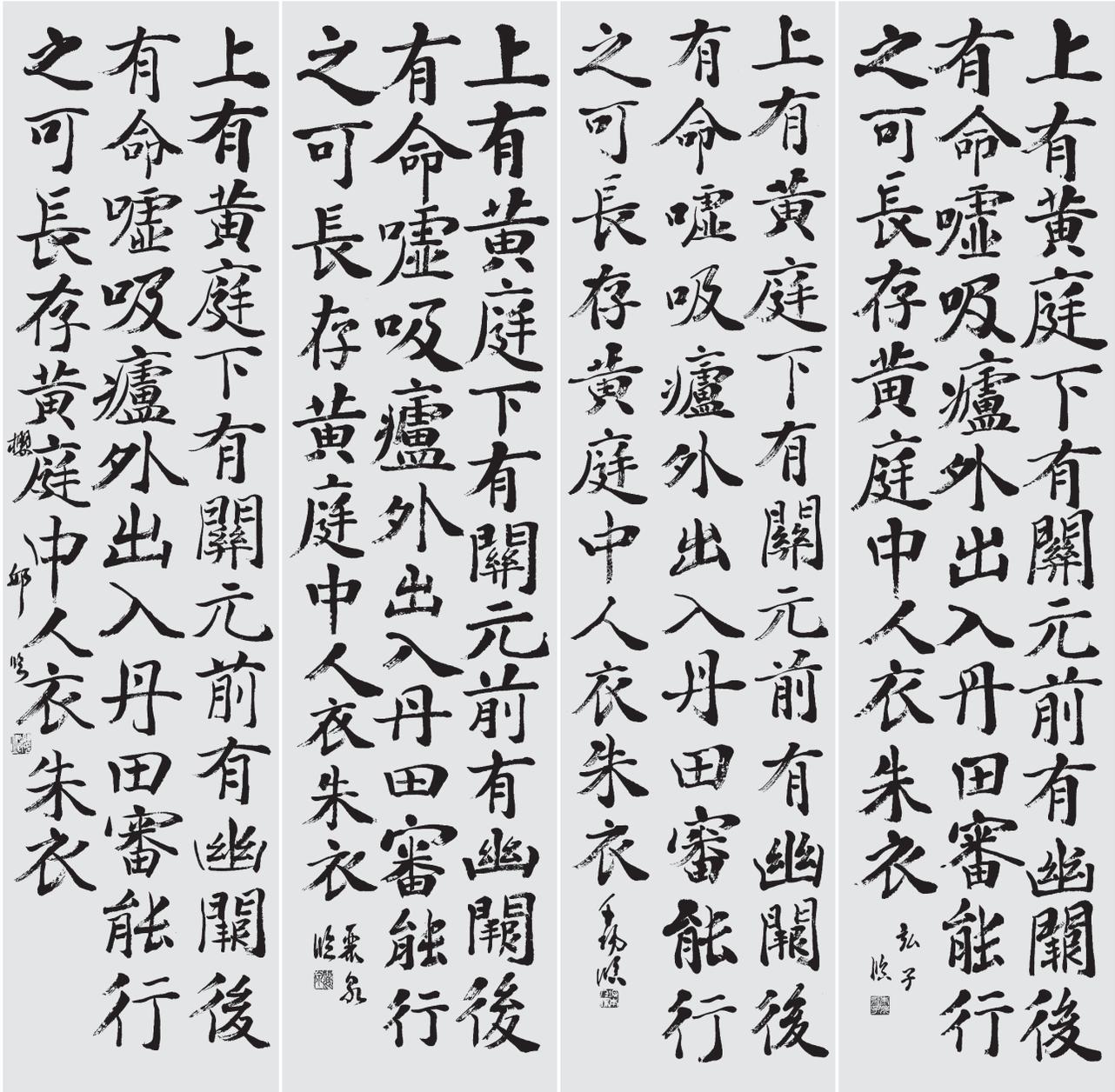


金子 芳彩 推選  
 すべてにバランス良く見事です。推選第一席に相応しい。余白の美しさや文字の大小の変化等、リズムに乗り一気呵成に書作して、力量の程を示した。

宮崎 夏輝 推選  
 空間を包み込むような大らかな明るい作品で素晴らしい。膨らみのある豊かな線も魅力で、作者の心の書への思いを表現しているように好ましい。

鯨井 香織 推選  
 久々に拝見する隷書体を基調とした近代詩文書です。平仮名部分も漢字部分にうまく調和させ、渴を孕んだ線も見応えがあり楽しませてくれる作品です。

藤井 碧峰 推選  
 明るく軽快な線で心を引き付けます。やや淡い墨色もうまくいっていると思いますが、もう少し墨量があっても良かった。渴筆部分は見事です。



本永弘子 推選  
動き大きく抑揚があり伸びやかな線魅力です。敢えて言えば多少の渴筆が各行一二箇所欲しかったこと、「臨」と雅印の位置どうなのでしょうか。

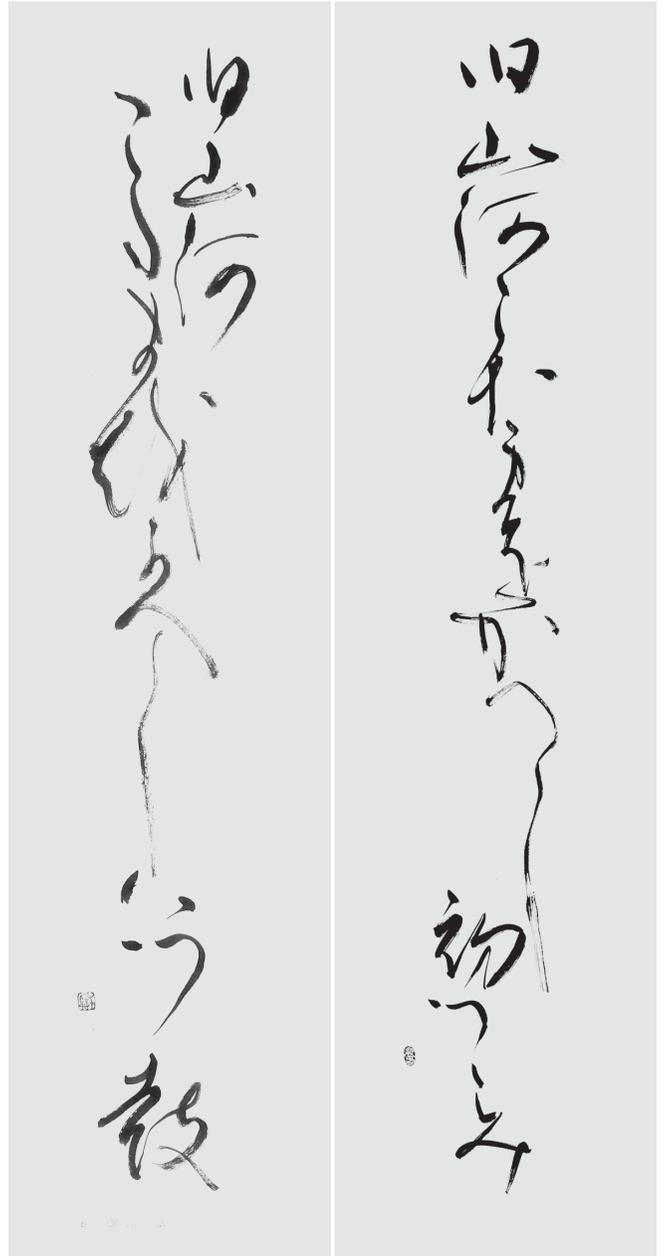
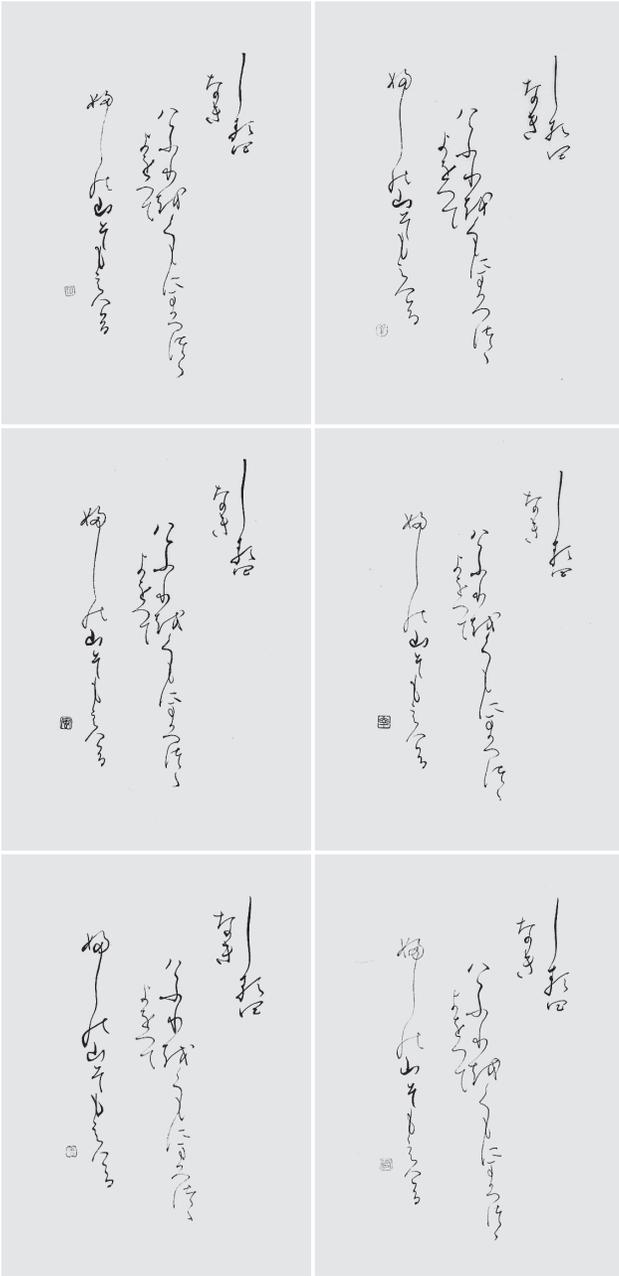
坂本千陽 推選  
一字一字丁寧で白がとても美しい作品になりました。やや小粒で字間を空けているにも拘らず弱く見えない。やはり動き大きく線の強さが成せる業。

野村麗泉 推選  
前者を観た後だろうか、やや大きく見えるが右払いが美しくしっかり書けています。潤筆はいいのですが渴筆が少し欲しいところですね。

峯岸櫻 邱 推選  
文字の大小、潤濁とてもいいですね。細い線はもつと丁寧にゆっくり引きましょう。少し気になるのは右払いの終筆、もう少し筆圧かけて大きくしてもいいのでは。

吉田久実子先生選評

吉澤真理先生選・下田豊子先生評



**樽木博美** 八段  
 原本の持つ粘り強い線を体得し、好感の持てる作。渦筆部分にリズムカがみえると更に呼吸深い作に。

**西田 峯** 師範  
 線の伸びやかさと勁さ、又間の取り方の妙、すべて原帖を習熟している筆者の呼吸が伝わり見事。臨書の勉強方法的確さに感服。

**村上春風** 七段  
 古筆に見えるダイナミックな動きを見事に表している。鋒先の効いた線が魅力的。最後の行の「し」が少し間延びしたこと惜しまれる。

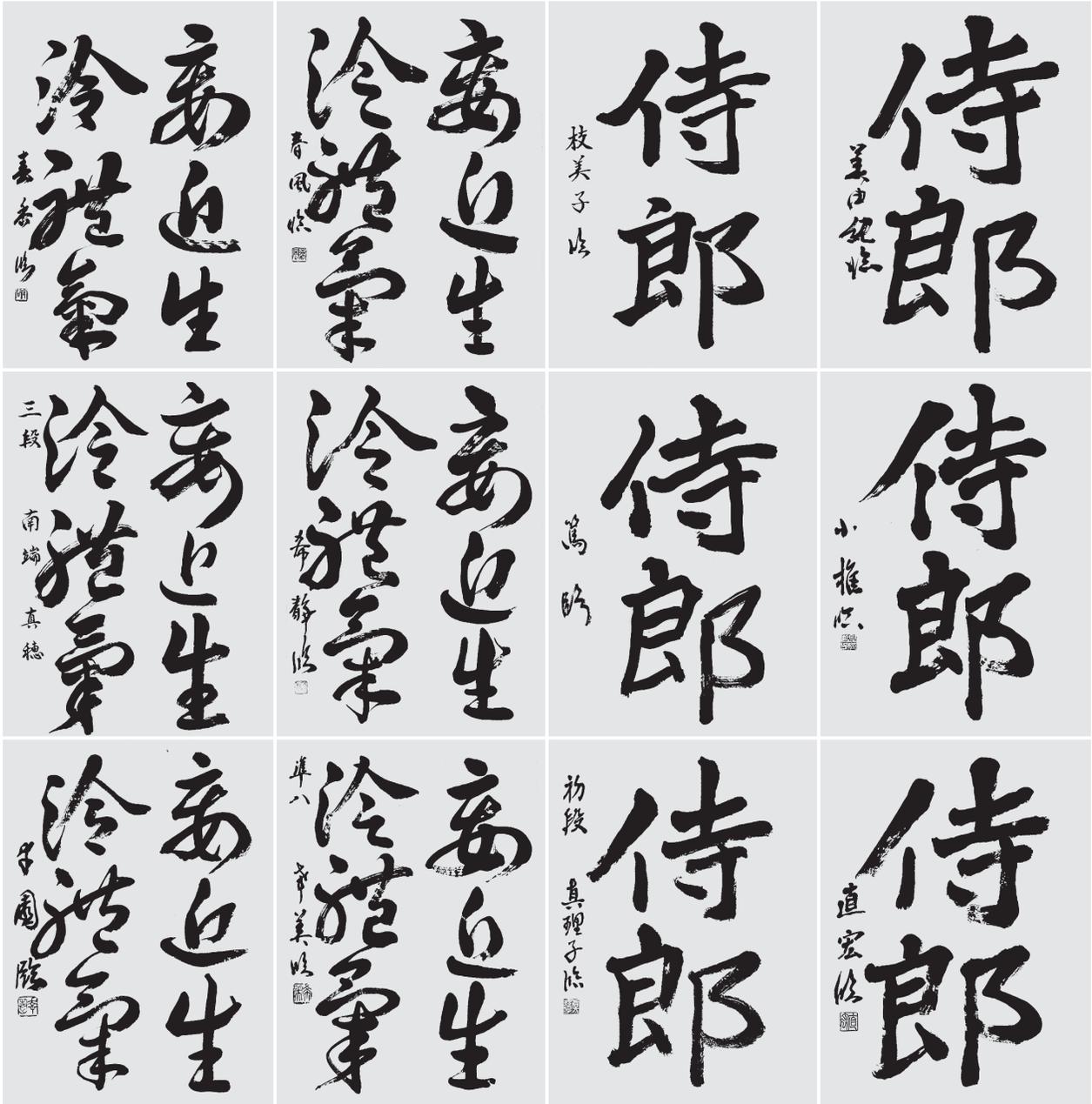
**居和城幸代** 師範  
 形態に迷いがなく練り出していく連続美しい。淡墨が更に作品に趣をそえてい。臨書にのぞむ真摯な姿勢を観る。筆勢加えると更なる作に。

**清水千寿** 準七  
 真面目で着実な臨書への取り組みを観る。文字の構え、行の流れも美しい。墨継ぎの箇所が行頭に集まったこと残念。潤渇のバランスに一考を。

**遅野井祐子** 準師  
 流れが貫通し優しい古筆の世界が広がる。あと一歩筆の弾力を使い、くい込む線を意識すると更に息つきを感じられる深さが。

**川畑彩春** 推選  
 濃墨で仮名にしてはめずらしい様な力強さを感じます。作品を自分のものにしての書作は見事です。但し「し」の字の様な線質には少々残念さがあり惜しい。

**得田 和** 推選  
 運腕大きく大胆さは見事です。墨色に今少しの心入れをしてみていただきたい。半折にこれだけの字粒の配置加減は見事。最終句の取め方は特筆する作品です。



**宇喜田美由紀** 師範  
筆の角度が揺るぎなく連筆が確かで作品に安定感がある。線質に円みがあつて余白が美しい。横画の上がり。少し強すぎか。

**山口枝美子** 準五  
すっきりとした澄んだ線条できりと締まりのある作品。鄭道昭の捉え方としてこのような表現もあつてよいと思う。

**村上春風** 師範  
文字の造形が確かでよく纏まつている。十分実力を感じるが、もう少し軽やかな線が組み合わさると更に獻之に近づくとと思う。

**百生春香** 三段  
筆の動きが直線的で引き締まつた凛とした作品。羊毛筆の特質を十分に生かし充実している。一点一画、一生懸命すぎるか。

**野原小稚** 八段  
線に和らぎがあり伸びやかで瑞々しい作品。運腕が大きく捉える空間が広やかだ。自然な筆の動きで若々しい書きぶり。

**山田篤** 二段  
藏鋒が深く、筆の弾力を生かした書き方をしている。特に「侍」は線質素晴らしく横画のうねり等特徴を良く掴んでいる。

**難波希静** 八段  
線に牙えがあり、美しく魅力的な作品で大きく見える。線から線への筆脈は感じるが、字から字への気持ち意識して欲しい。

**南端真穂** 三段  
リズムカクで躍動感のある作品。流れが自然で気持ちの良い書きぶり。颯爽とした運筆に将来性を感じる。線の円みを求めて。

**有明直宏** 準七  
線質に適度なねばりがありコクがある。正面切つた筆遣いで堂々とした作品。迷いのない動きで潔さを感じる。

**藤田眞理子** 初段  
何の街いもない純真さを感じる作品。書き手の心境の高さが窺える。「おおざと」は墨が少なくなつても意に介さずに書ききつた。

**近藤希美** 準八  
墨色美しく線に深みがある。筆の握りが柔らかく力みのない自然な運筆が好ましい。細部よりも全体に意を注げば完璧。

**荒木幸園** 四級  
外連味の無い素直な線条で表現された紙面が明るく美しい。特に、先へ先へと進んでいく二行目の筆の動きが秀逸だ。